

## 資源循環に関する考え方

世界的に人口増加を背景とした経済発展や利便性の追求により、資源消費のスピードが加速する中、資源枯渇リスクを軽減するためには、資源循環の取り組みが重要です。当社は、これまで取り組んできた廃棄物・排出物の最小化を継続しつつ、再生材の利用促進や、リサイクルしやすい低環境負荷商品の拡大といった資源循環の取り組みを強化しています。

当社商品の主素材の一つであるポリ塩化ビニル（塩ビ）は、優れた加工性・耐久性・経済性を併せ持つ素材として、建築業界において広く使用されていますが、複合的な素材として活用されていることによって、リサイクルが困難な状況となっています。塩ビのリサイクル化は当社だけでなく業界全体の課題であり、素材メーカーやリサイクル業者と連携した取り組みを推進していきます。

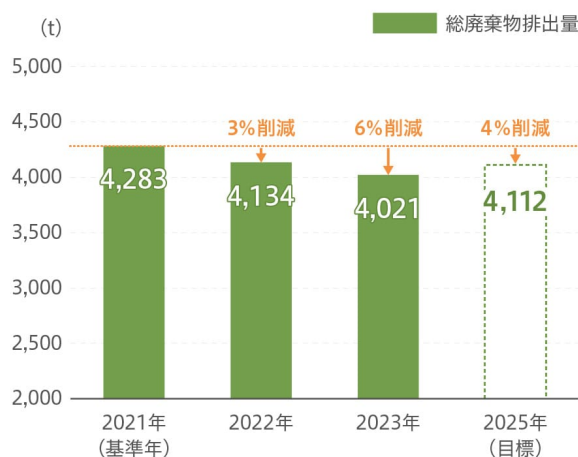
## 資源循環に関する目標・実績

### 総廃棄物量削減

サンゲツ単体 基準年度2021年度：4,283t

|        |    |        |                        |
|--------|----|--------|------------------------|
| 2023年度 | 目標 | 4,197t | 2021年度比<br><b>2%削減</b> |
|        | 実績 | 4,021t | 2021年度比<br><b>6%削減</b> |
| 2025年度 | 目標 | 4,112t | 2021年度比<br><b>4%削減</b> |

サンゲツ単体総廃棄物量削減計画

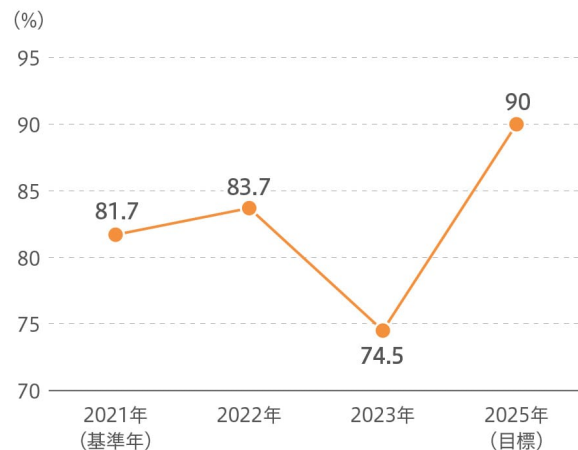


## リサイクル率

### サンゲツ単体

|        |    |       |
|--------|----|-------|
| 2023年度 | 目標 | 86%   |
|        | 実績 | 74.5% |
| 2025年度 | 目標 | 90%以上 |

### サンゲツ単体リサイクル率向上計画



## リサイクルシステムの構築

### 見本帳リサイクル

当社見本帳は、約12,000点にもおよぶ多彩な商品をお客さまに実感してもらうための重要なビジネスツールである一方、年間で約150万冊発刊されており、使用後の見本帳はさまざまな場所で、リサイクルされずに廃棄されています。この環境負荷に対する課題解決として、見本帳のリサイクルを行っています。2021年3月に設置した「見本帳リサイクルセンター」では、さまざまな素材が混在している当社見本帳を分別し、マテリアルリサイクルとして資源循環を行っています。分解作業の効率化により、毎年徐々にリサイクル冊数を増やしており、2023年度のリサイクル冊数は前年の約7.7万冊から約12万冊に増加しました。また、同センターにおける見本帳リサイクルの作業スタッフには、障がい者を雇用することで、障がい者の活躍を支援しています。2025年の目標冊数である30万冊達成に向け、さらなる作業の効率化や紙・塩ビのマテリアルリサイクルに向けた関連事業者との連携を進めていきます。

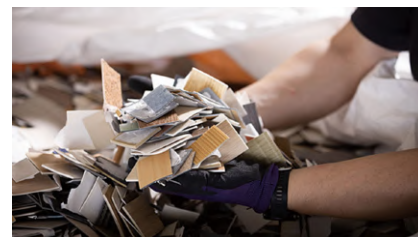
### 使用済み見本帳のリサイクル冊数 (2023年度)



本社内見本帳リサイクルセンター



分解作業の様子



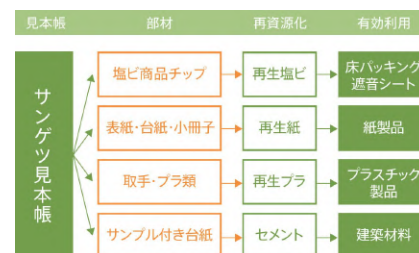
分解した現品のチップ



11



見本帳リサイクルフロー図



23 SANGETSU Environmental Report 2024



回収したカーテンを  
再資源化します。



回収したカーテンを  
固形燃料化して熱工  
ネルギーにします。

#### 【カーテンリサイクル累計実績】（2024年9月時点）

- ・ケミカルリサイクル 4,355kg
- ・サーマルリサイクル 17,495kg
- ・マテリアルリサイクル 2,100kg

※出荷ロスなど端材のリサイクルも含みます。

※回収したカーテンは商品のリサイクル方法ごとに分別したうえで、リサイクルを行っています。

※リサイクル活用法については、技術革新やその他の理由で変更になる場合があります。

## TOPICS

### ポリエステル繊維リサイクル培地「TUTTI<sup>®</sup>※」とコラボレーション

当社は、2023年3月に東京日比谷に開設したオフィス「PARCs」の植栽エリアに、当社が回収したカーテン生地をアップサイクルして生まれた土「TUTTI（トゥッティ）」を採用しました。「TUTTI」とは、ポリエステル繊維を主体に人工ゼオライトなどを特殊配合した“繊維でできた土”です。従来の培養土と同じように、野菜や花、苗木などを育てることができます。軽さや保水性・通気性に優れ、長期間の利用が可能なほか、手が汚れにくく室内でも取り扱いやすいといった特長があります。本取り組みでは、スタイレム瀧定大阪株式会社と協働し、「サンゲツカーテン・エコプロジェクト」により回収されたポリエステル製のカーテン生地を原材料の約20%に使用しています。カーテン生地を使用した同製品の製造は初めてであり、不要になったものを価値ある製品に再生する、アップサイクルとしての可能性を持つ試みです。

※「TUTTI」はスタイレム瀧定大阪株式会社が展開するポリエステル繊維リサイクル培地の登録商標です。

#### 使用済みカーテンが「TUTTI」に生まれ変わるまで



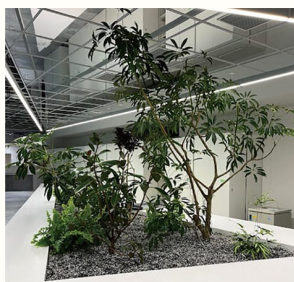
「サンゲツカーテン・エコプロジェクト」により回収されたカーテン



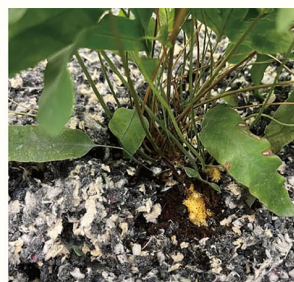
カーテンを粉碎し、人工ゼオライトなどと混練



完成したオリジナル「TUTTI」



PARCsに施工した「TUTTI」



## カーペットタイル・リサイクル



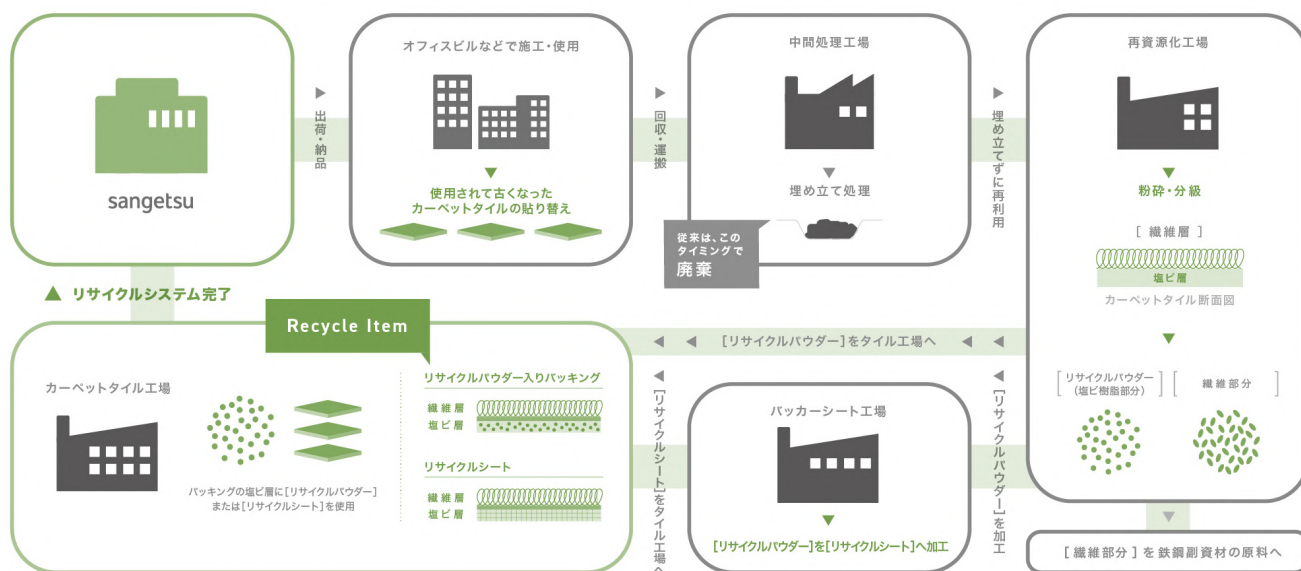
当社のカーペットタイルは、廃カーペットタイルを特殊技術によりリサイクルした再資源原料をバックング層に使用した環境配慮商品です。

また、カーペットタイル（Double Eco + Wellness）は、表面のパイルと裏面のバックング材にダブルでエコ素材を使用することで、環境負荷の低減に貢献しています。パイルには漁網やカーペット廃材などをリサイクルした100%リサイクル糸「エコニール(R)」を採用し、裏面のバックング材には、使用済カーペットタイルの廃材を再利用した「リサイクルバックング」を用いることで、CO2排出量を当社従来品比で最大約61%削減します。また、再生材比率は最大約49%を実現しています。

## カーペットタイル・リサイクルの仕組み

### Sangetsu Carpet Tile Recycle System

サンゲツ カーペットタイル リサイクルシステム



## 展示品や廃棄商品の有効活用



ショールーム展示品や廃棄商品については、保育園や学童保育所、社会活動を行うNPOに寄付しています。

これらのカーテン生地は、従来は廃棄処理されていたものですが、各施設では備品や玩具への装飾、園児・児童達の創作品として利用されています。

また、災害時の避難活動を支援するNPOでは間仕切りのカーテンとして有効活用されています。